

人口減少が進む中、福島の若者は未来をどう描こうとしているのか。福島学院大の学生が子育て、福祉、地域の在り方など身近な社会問題について議論し、意見や提言を毎月1回、連載で発信する。

**今先生** 待機児童問題は、ずいぶん前から新聞やテレビで取り上げられているけど、いっこうに解決しないね。

**藤田** 保育士や入所できる施設が不足していることが原因だと思う。

**千葉** 働くお母さんが増えたことも原因では。

**菊池** 自宅におじいちゃんやおばあちゃんがいないため、子どもを預けなければならぬといふ人も多い。

**今先生** 原因が分かっているのに、どうして解決できないのかな。

**藤田** 保育士は給与の割に責任が重いので希望する人が減ってきてる。

**渋谷** 事務の仕事も多いと聞いた。

**根本** 上司や同僚、保護者との人間関係も大変なのかもしれない。

**千葉** 地域住民の反対運動で施設が建てられないというニュースも見た。

**渋谷** 建設費用が掛かりすぎるからかな。

学生の声に対する感想や意見をお寄せください。紙面に掲載する場合もあります。〒960-8602 福島民報社地域交流部。〒960-8602 福島民報社地域交流部。メールはfukushimainfo@fukushima-minpo.co.jp(件名:電話番号を明記してください)。

**藤田** 運営するお金も税金だから、住民が賛成しないと施設はできない。

**今先生** 昨年末に開かれた福島市待機児童対策推進会議の議事録を見ると、2020年4月までに17の施設が新設され、潜在的待機児童分も考慮して924人まで定員を増やす計画だ。しかし受け皿は段階的に拡大できるとしても、保育士の確保は難しいようだ。

**千葉** 保育士の給料を上げれば、希

望者は増えると思う。

**今先生** 「松戸手当」というのを知っているかな。千葉県松戸市で働く保育士に対し、給与の他に市が手当を出すことを決めたそうだ。

**根本** いいことだと思う。保育士が全国から集まりそう。

**今先生** 本当にいいことかな。待機児童解消を第一に考える自治体としては当然の対策だと思うけど、財政が豊

かでなければ無理。福島はどうかな。

**菊池** 福島の学生も松戸市に就職するかもしれない。

**千葉** ディズニーランドに近いし、いいかも。

**渋谷** 福島市は「福島手当」を出さないのかな。

**今先生** 「福島手当」を出すかどうかは別として、国家資格である保育士の給与改善は全国で行われるべきことではないのかな。保育所には毎月、委託運営費というお金が支払われているんだけど、例えば給食費にいくらとか、画用紙などの保育材料費にいくらとか決まっていて、保育士の入件費も金額が細かく決まっている。この入件費について、積算根拠としている想定給与が低いことが問題だと思う。運営費の支給単価を上げなければ保育士の根本的待遇改善はできないと私は考える。

**根本** なるほど。基本的に保育士の地位が低く見積もられているのか。「○○手当」ではなく、基本部分の保育士の給与水準を上げなければならない。

**渋谷** そうなれば、保育士になりたい人が増えると思う。

**藤田** 私も一層、やる気が湧く。  
二次回は5月第3週に掲載予定

### 待機児童問題

## 保育士の待遇 改善を



写真前列右から根本奈津さん、千葉佳理さん、藤田彩花さん。後列右から今清孝准教授、渋谷怜平さん、菊池奈惠さん(学生はいずれも4年)

福祉学部こども学科